

令和7年度 第1回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和7年7月3日（木）14：00～15：30

場所：飯田市役所本庁舎 第2委員会室

出席者：清水会長、寫田副会長、畠中委員、渡邊委員、北原委員、胡桃澤委員、和田委員、熊谷委員、森下委員、松村委員、遠山委員、三村委員
高田副市長（行財政改革推進本部長）、清水総務部長、佐々木企画部長、小澤財政課長、鎌倉デジタル推進課長、澤柳企画課長、伊藤人事課長

欠席者：渋谷委員

1 開会

欠席者連絡 渋谷 隆 様 1名

2 あいさつ

（高田副市長）

本日は、お暑い中また公私ともにお忙しい中ご出席賜り感謝申し上げます。只今、任命書を配布させていただいたが、初めての方も引き続きという方もこれから3年間よろしくお願ひしたい。

大きく2点お願ひしたい。1点目として、行財政改革とは無駄を省き経費を節減し、財政を健全化していくことをねらいとしている。現在、飯田市を取り巻く状況は少子高齢化、人口減少という形で様々な課題が現れてきており、コロナ禍を経て市民の感情や行動の変化、あるいはエネルギー源の危機、昨今の政情不安による物価高騰など、様々な要因で地域を取り巻く環境の変化が著しく起こっている。そこに対応していくためのマンパワー、財政も含めて私共は今非常に厳しい状況にある。そうした中でも、数多くの複雑な課題に対応しながら市民サービスの水準を維持向上させていくことは私共の使命であると考えている。そのためには、日頃の事務事業の効率化や生産性の向上が大切である。今後の飯田市行財政改革の大きなテーマとして、生産性の向上が挙げられる。昨年度策定した飯田市行財政改革大綱、飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画について、この後説明するが、今後の取組についてご意見を頂戴したい。

2点目として、指定管理者制度についてご意見をいただきたい。飯田市が設置している公の施設において、市民サービスをより向上させていくために民間の事業者を管理者として指定し、その力をお借りして、管理・運営を担っていただくものである。次回、第2回の行財政改革推進委員会では、施設の運営状況を個別に報告申し上げ、この先も維持していくのかなど今後の方向性についてぜひ委員の皆さんのご意見をいただきたい。

限られた時間の中で大変詰めた内容の会議になるが、よろしくお願ひしたい。特に本日の委員会は、こちらからの説明が多くなり、その中に行政の特別な言葉や専門用語が多く出てくるかと思うが、不明な点があれば手を挙げていただき、今後の会議の基礎部分になるのでお聴き取りいただくようお願いしたい。以上2点をお願い申し上げ、行財政改革推進本部長あいさつとする。

3 会長等の選考

会長及び職務代理者の選出について

○会長 清水可晴委員 ○会長職務代理 寫田盛光委員

※会長立候補者なし。事務局による腹案にて清水委員を推薦し決定した。

会長職務代理者は、条例に基づき会長の指名により決定した。

(清水会長)

ただ今の選考により、本委員会会長に就任させていただくこととなった清水可晴である。8年振りの委員会室に懐かしい気持ちもあるが、私自身は勤労者の声を届けるといった立場である。本委員会では会長として委員の皆様とともにしっかり議論を行い、委員会の意見等を取りまとめてまいりたい。また、先ほどの副市長あいさつにもあったとおり、市民の皆さんや各企業の置かれている環境が目まぐるしく変わりつつある。委員の皆様からは、高所大所からの感覚でご意見をいただければ有難いと思う。今後ともご指導ご鞭撻をいただけるようお願いし、会長の就任あいさつとする。

4 確認事項

(1) 飯田市の行財政改革について 【小澤財政課長説明】

- ・飯田市の行財政改革に関する組織・関係図 資料1
※質疑・応答なし
- ・飯田市行財政改革大綱 資料2
※質疑・応答なし
- ・飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画 資料3
※質疑・応答なし

(2) 指定管理者制度について

- ・指定管理者制度を導入する施設の評価について 資料4
※質疑・応答なし
- ・指定管理者制度導入施設一覧 資料5
※質疑・応答なし
- ・指定管理施設実績評価及び今後の運営方針検討票（第三者評価）例 暫定版 資料6
※質疑・応答なし
- ・指定管理者制度に関するガイドライン 資料7
※質疑・応答なし
- ・指定管理者制度に関するガイドライン見直し後の運用の概要 資料8
※質疑・応答なし
- ・地域密着型の公の施設のあり方における基本的な対応方針 当日配布資料1

(和田委員)

地域密着型の施設は、譲渡の方向性で検討していることは理解した。一方で第三者評価は、資料6の従前どおりの検討票で評価すると確認したが、地域密着型の施設は別の評価方法で評価することなのか。従前の検討票での評価方法でも評価するのか、その考え方を教えていただきたい。

(小澤財政課長)

説明不足な点がありお詫び申し上げます。地域密着型の公の施設についても、行財政改革推進委員会の第三者評価の対象案件である。その中で、地域密着型施設については、担当課と地域との協議結果をもって、今年度の更新を待たずに無償譲渡あるいは貸与をしていくという形で進めていくケースも含まれる。資料6でお示した「指定管理施設実績評価及び今後の運営方針検討票（例）」に習い、案内する予定だが、当日配布資料1の(4)から(16)の施設については、危機管理課所管のコミュニティ消防センターが続く。施設数も多いことから、説明が重複する部分については工夫しながらお示しする予定である。いずれにしても、同じ考え方の元評価をお願いしたいと考えている。

(和田委員)

提示された施設の中でも対応が分かれる可能性があるということによろしいか。

(小澤財政課長)

基本的な考え方としては同じだが、結果として全ての施設が同じ形にはならない。案件によっては団体の法人格を有していない場合もあり、そのような場合には普通財産の無償貸付という形をとることになる。法人格を有する組織(いわゆる地縁団体)ができた段階で譲渡していくことになる。

(和田委員)

承知した。

(鳶田副会長)

今年度 39 施設の評価をするということだが、前年度のように施設の視察へ行く予定はあるか。

(小澤財政課長)

今年度は、委員改選の時期に当たり時間もないことから視察は行わない予定である。資料4「指定管理者制度を導入する施設の評価について」の13頁以降に評価対象施設の概要を掲載している。評価の参考にさせていただきたい。

(鳶田副会長)

承知した。

(清水会長)

今回の行財政改革推進委員会にて評価するにあたり、事前に事務局より資料が送付される予定とのこと。委員の皆さんには資料を基に現場へ出向いていただくこともあるかと思うがよろしく願いしたい。

5 今後のスケジュール 【小澤財政課長説明】

○今年度の行財政改革推進委員会の開催予定

- ・第2回(令和7年7月28日(月)予定) 通知郵送済
飯田市の行財政改革の取組、公共施設マネジメントの取組ほか
 - ・第3回(令和8年3月頃 予定)
行財政改革大綱に基づく実行計画(令和7年度の取組・8年度の計画)ほか
- ※質疑・応答なし

6 その他 【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

○ 委員報酬及び旅費について

※質疑・応答なし

(高田副市長)

閉会にあたりひと言御礼申し上げます。こちらからの一方的な説明が多い会議であったが、次回本委員会では具体的に各施設の評価をいただくので、本日お配りした資料へ目を通していただきこれからの参考にいただければと考える。お忙しい中ご出席いただいたことに感謝申し上げます。

7 閉会